

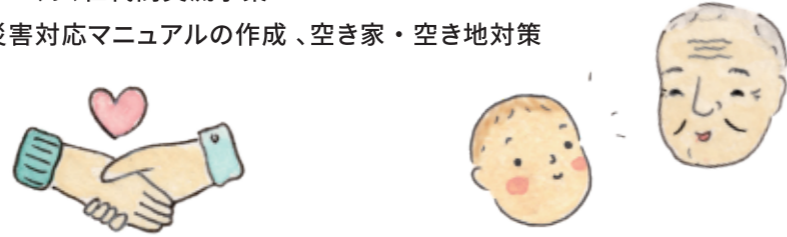
行動計画～4つのビジョン実現のための今後の取り組み～

行動計画

1

助け合い、つながり、みんなが安心して暮らすことができるまち

- 子育てしやすい環境づくり(見守り活動、地域みんなで子どもを育てる)
- 気軽に相談したり助け合うことができる関係づくり、一人暮らし高齢者への声掛け運動、高齢者が集い交流できる場づくり、世代間交流事業
- 災害に備えた避難訓練、災害対応マニュアルの作成、空き家・空き地対策

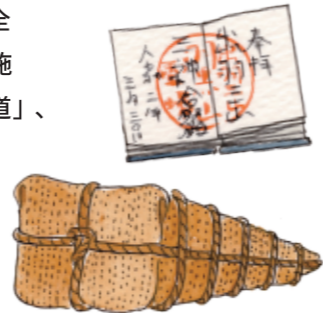


行動計画

2

歴史や伝統文化を受け継ぎ、「本物＝出羽三山の門前町」が残された、信仰が息づく心豊かなゆとりあるまち

- 信仰が息づくまちづくり、祭礼行事等の後継者育成と体制の見直し、歴史的風致維持向上計画事業を活用した歴史的なまちなみの維持保全
- 歴史や伝統文化をテーマにした講演会や学習会、体験プログラムの実施
- 歴史や伝統文化を活用した「にぎわいづくり」(提灯プロジェクト「光の道」、御朱印めぐりなどの宿坊街回遊イベント)、魅力の発信



行動計画

3

自然環境と上手に付き合い、共に暮らすまち

- 関係団体等と連携し、公的な支援制度を活用するなどして、効果的な雪対策に取り組む(雪降ろし支援、雪捨て場の確保、除雪機導入への補助、有償の除雪ボランティア組織の結成など)
- 雪を克服したり、楽しむための取り組みを行う
- 関係団体等と連携し、熊やイノシシなど鳥獣対策を強化する



行動計画

4

将来にむかってみんなが生き生きと輝くことができるまち

- 移住者の受け入れについての取り組み(例:受入体制や支援体制を整える)
- 空き家や空きスペースを活用した取り組み
- 地域を担う人材の育成や地域おこし協力隊・企業人などの制度を活用
- 世代をこえて関わり、参加し、楽しむことができる地区住民全員を対象にしたイベントの実施(例:地区をあげたお祭りや、文化・スポーツイベント)
- 地域資源を生かした「なりわいづくり」の取り組み(例:山菜やとれたて野菜、加工品などを販売する門前町手向マルシェ(仮)、新たな特産物の開発や取り組み)



経済成長率の伸びが止まってきた日本では、今、様々な問題を抱え、危惧されることが次から次へと起こっています。手向地区においても人口減少、少子高齢化がすすみ、このままでは限界集落におちいるのではないかと推測されるデータも出てきています。また移住者の受け入れ体制の整備、空き家対策なども大きな課題となってきています。

このような状況の中、手向地区では平成30年10月から住民ワークショップを行い、将来計画づくりのための意見交換を重ねてきました。お互いが手向に対する熱い思いを述べ、なるほどと思われる意見も数多くありました。

『人にやさしい村なので、人が流出するのかもしれませんが、でも、人に求めるだけの村にはなりたくないです。「うけたもう」人にやさしくできる村でありたい』『私たち大人が「ここはいいところだ」「私はここに生まれてよかった」とどれだけの人が胸を張って言えたか反省しています。なんでか？それは、お金を得るのに忙しいから、やっぱり働かないと食べていけないから。でも、この地に生まれた良さを、素晴らしいと思える感性は持っているのです』。こういったワークショップで語られた参加住民の言葉に大きなヒントを得ました。

また手向の歴史や伝統文化を受け継ぎ、さらに出羽三山の門前町を発展させるため、これまで行ってきた「手向を知る講座」のように、地域の人が自主的に学ぶ機会をもつことが重要です。手向集落を存続させる突破口を見出すためにも、「手向学」で手向の歴史を学び、手向の伝統文化を受け継いでいきましょう。

手向人(先人)はいろいろな危機に向かい合って知恵を出して乗り越えてきました。「うけたもう」とは、あらゆる事を受け入れて、互いを生かして共存して生きていく世界を目指すことだと思います。この不屈の精神でまちづくりをやっていこうと決意し、門前町手向地区まちづくりプランを策定しました。

うけたもう

修験の里 手向地区

を合言葉にした10年後も住み続けたいまちづくり



まちづくりプラン策定にあたって

「今より住みやすい手向になってほしい」これは多くの地域の皆さんの願いです。
 「こんな手向になったらいいな」「このような手向をめざそう!」
 そうした地域の皆さんの意見を参考にして、まちづくりプランをつくり上げました。
 10年後の理想的な手向の姿と目指すべき地域の将来像を
 「まちづくりプラン4つのビジョン」として、今後の事業計画や
 取り組みの参考・指針を「行動計画」としてまとめました。



誰が？

手向地区自治振興会をはじめ、地区住民みんなが

どんなとき？

地域の事業計画、まちづくり・地域づくり活動、
その他いろいろな取り組みなどを計画し実施するときに

どのように？

参考書のような形で、このまちづくりプランを活用してほしい

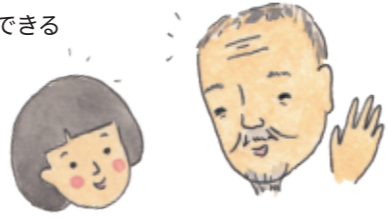


このような想いで、2か年をかけつくりあげたこのプラン。
きっと、地区の進むべき道を決めるとき、岐路に立って迷ったときの道しるべになると思います。

まちづくりプラン4つのビジョン～10年後の理想的な手向の姿・目指すべき地域の将来像～

1 助け合い、つながり、みんなが安心して暮らすことができるまち

- お互いに助け合い、子どもからお年寄りまで安全・安心に暮らすことができる地域を目指します
- 心配事をひとりで抱え込まず、誰かに相談できるような、人と人とが関わり合い、声をかけ合うような、人にやさしい地域づくりを行います
- 公的な支援等を積極的に活用し、安全・安心に暮らすことができる環境・体制づくりを行います



3 自然環境と上手に付き合い、共に暮らすまち

- 厳しい自然に備えた、安全・安心なまちづくりを目指します
- 豊かな自然と共に暮らし、その恵みを活かした取り組みを進めます
- 豊かな自然を維持・保全します



2 歴史や伝統文化を受け継ぎ、「本物＝出羽三山の門前町」が残された、信仰が息づく心豊かなゆとりあるまち

- 出羽三山の門前町手向地区の歴史や文化を大切に、時には変化させながら、次世代へと受け継ぎます
- 地域について学び、理解を深めることで、住民ひとりひとりが誇りを持つことができる地域を目指します
- 手向地区ならではの魅力＝地域資源を活用した取り組みを進めるとともに、地域内外へその魅力を発信します

4 将来にむかってみんなが生き生きと輝くことができるまち

- 観光と信仰をテーマにした「にぎわいづくり」をすすめます
- 住民ひとりひとりが、出番と役割をもち、活躍できる地域を目指します
- 地域を担う人材の発掘と、新たな仲間を受け入れる環境や体制づくりに取り組みます
- 住民それぞれの「得意なこと」や「好きなこと」、「いきいきと活動できること」を、地域資源を生かしながら「なりわいづくり」に挑みます

